

＜英語語法マスター②＞ 副詞の語法①

① 肯定・否定・疑問文のいずれに用いるかで注意が必要な副詞

① already の用法

- ・肯定文で「 」という完了の意味を表す。

(例) She has already finished the work. 「彼女はもう仕事を終わりました。」

- ・否定文・疑問文で「 」という意外・驚きの意味を表す。

(例) He hasn't come already, has he? 「まさかもう彼が来たのではないでしょうね」
→ 否定文の場合、() がつくことも多い。

② yet の用法 ← yet の位置は ()

- ・否定文で「」の意味を表す。

(例) She is not home yet. 「彼女はまだ帰宅していない」

= She is not **yet** home. ← 文語では () に置かれる。

- ・疑問文で「」の意味を表す。

③ stillの用法

- ・肯定文・疑問文で「**→**」という**継続**の意味を表す。

- ・ 否定文で「まだ」という否定的状態の継続を強調する意味を表す。stillの位置は()。

(例) You **still** haven't answered my question. 「君は**まだ**私の質問に答えていない」

- ・ () の still は接続詞的に用いられ、「　　」の意味を表す。

(例) We were poor. Still, we were happy. 私たちは貧しかった。それでも幸せだった。

④ ever・onceの用法

- ・ ever が「肯定文」では「常に」の意味を表すのは **否定・疑問** および **条件文** の場合で、
「一度」の意味は **once** で表す。

(例) Have you **ever** been to London? 「ロンドンに(かつて)行ったことがありますか」

I have seen it once. 「私は1度それを見たことがある。」

→ once が動詞の前、文頭にすると「私はかつてそれを見たことがある」となる

I once saw it.

⑤ too・eitherの用法

- ・ too 「は肯定文に用い、否定文に続いて」
 には either を用いる。 」という場合

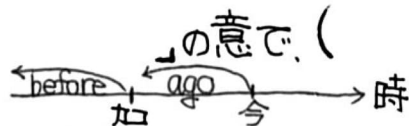
② 用いる文の時制に注意が必要な副詞

① agoの用法: 「～前に」

- agoは「過去」の意で、期間を表す語句を伴い、()とともに用いられる。
The house was built two years ago. 「その家は2年前に建てられた」

② beforeの用法: 「前に」

- beforeは「過去」の意で、()とともに用いられることが多い。



- (例) I told her that I had seen him two weeks before.
「2週間前に彼に会ったと私は彼女に言った」

- 「過去」の意で () 用いる用法もあり、この場合は ()・() () などと用いる。← agoは単独で用いない!

- (例) I have seen him somewhere before. 「以前どこかで彼に会ったことがある」

③ sinceの用法: 「それ以来」

- sinceは「過去」の意で () で、もしくは ever sinceの形をとり、() とともに用いられる。

- (例) We haven't seen her since. 「それ以来彼女には会っていない」

④ 「最近」の使い分け

- () [=] → () とともに用いる
- ()・() → ()・() とともに用いる

- ※ lately は通例 ()、recently は「最近ずっと」の意では ()、
「この間」の意では () とともに用いられる。

- (例) Many people nowadays travel to Japan. 「このごろ日本へ旅行する人が多い」
They got married only recently. 「彼らはついこの間結婚したばかりだ」

⑤ 「今」系の使い分け

- now 「今」は () に、just 「今しがた」は () と () 形とともに用いるが、just now 「たった今」は () とともに用いる!

- (例) I have just received his letter. 「ちょうど彼の手紙を受け取ったばかり」
She left the office just now. 「彼女はたった今会社を出たところだ」

- ⑥ just now は状態動詞の () と用いて「現在」の意を表す。